



新時代へ躍り出そう

Sustainable AI 藍 Land
TOKUSHIMA

徳島バッテリーバレイ構想 関連施策の進捗状況について

令和7年10月6日

経済産業部 企業支援課新産業立地室

目 次

1. 今年度の取組の進捗状況

2. 参考_徳島バッテリーバレイ構想・推進ロードマップ

Chapter

01

今年度の取組の進捗状況

徳島バッテリーバレイ構想・2025アクションプラン（R7施策）

令和7年度徳島バッテリーバレイ構想関連予算 約20億円(補助金他2,017,928千円) を計上。

県・推進施策



企業誘致の加速



- 2024－2027年を企業誘致(営業)の重点期間に設定
- 補助金上限を30億円から**100億円**へ大幅な引上げを行い、**全国トップ**の補助制度を確立
- 首都圏での電池業界の展示会出展など、積極的な誘致活動
- 県内企業の新規参入に向け、営業活動や商談の設定など、販路開拓の伴走支援

インフラ整備の促進



- **産業用地整備に向けた取組**を展開
- 物流の効率化を図る**高規格道路等の早期整備**や新たなアクセスルートの検討
- 物流拠点を創出する徳島小松島港「赤石地区」等の**港湾施設整備の推進**

クリーンエネルギーの最大限導入



- 太陽光発電と蓄電池の導入を加速
- 充電インフラの整備をはじめとした**E V**の**普及拡大**
- 県有施設への**次世代型太陽電池導入**の実証

蓄電池人材の育成・確保



- 「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」との連携を基軸にした**教育プログラムの実施校の拡充**
- 県立**テクノスクール**での蓄電池関連技術や生産工程の**自動化に関する訓練**の実施
- 大学等の卒業後に県内事業所で3年以上就業する方を対象に**奨学金の返還を支援**
- 従業員の**奨学金返還を支援**する**中小企業に対する支援金の支給**
- 東京23区、大阪圏からの移住者に対し移住支援金を支給
- 東京圏内のキャンパスに通う大学生等に対し、県内企業等への**就職活動に要する交通費**を助成
- 大阪圏内のキャンパスに通う大学生等に対し、県内企業等に就職した場合に**就職応援金**を支給

県内外での情報発信



- 推進会議参画機関との連携による**経済界への浸透**
- **映像を活用したSNS広告**など多様なツールを活用し、**学生、若者**をはじめとした幅広い層への**魅力発信**を展開

県内でのバッテリー教育の **実施校拡大** に向けた取り組みを実施。

また、**徳島大学** で新たに **教養課程** での授業が開始され、高校世代からの **継続的な教育体制の構築** が進捗。

蓄電池人材の育成

高校・高専でのバッテリー教育

- 県内6高校及び高専の計7校で座学、実習、工場見学を展開
- 実施校拡大**に向け、**アンケート調査**を実施中

大学でのバッテリー教育

- 令和7年4月より徳島大学の教養科目で**カリキュラム化**

1 授業名	リチウムイオン電池と無機工業化学
2 概要	歴史、現状、将来像、取り巻く個々の事象についての解説他、関連機関・企業の技術者の方が、現状と将来に対する取り組み等を講義
3 対象	1年生を中心
4 単位等	全15コマ（各90分）・2単位

協力機関(特別講師)

2社

- 産総研関西センター
- プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社

高校・高専での興味関心から大学教育へ

令和7年

①座学、②実習、③工場見学の順で実施していく標準的な流れを設定。興味・関心を将来の進学、就職へ繋げる。

教育の流れ

興味関心

就職・進学

基礎的知識の習得

実践での技術習得

働くイメージの醸成

専門的知識・技術の習得

① 座学

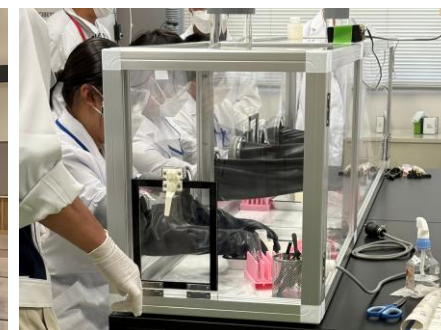
② 製造実習

③ 工場見学

大学

高校・高専

座学・実習の様子(富岡西高校)



Menu.3

再エネ電力（新事業展開・誘致促進）

四国電力株式会社と徳島県との提携により、徳島県営水力発電所を活用した電力供給ブランド「でんきで げんき！とくしまパワー」を創設し、令和3年6月より 県内向け の電気料金プランを導入。

脱炭素化 に向けた取り組みへの支援及び 再生可能エネルギーの地産地消 を推進。

R7.4 拡充・リニューアル

県内企業のCO2排出削減に貢献

とくしま水力100%プラン

リニューアル

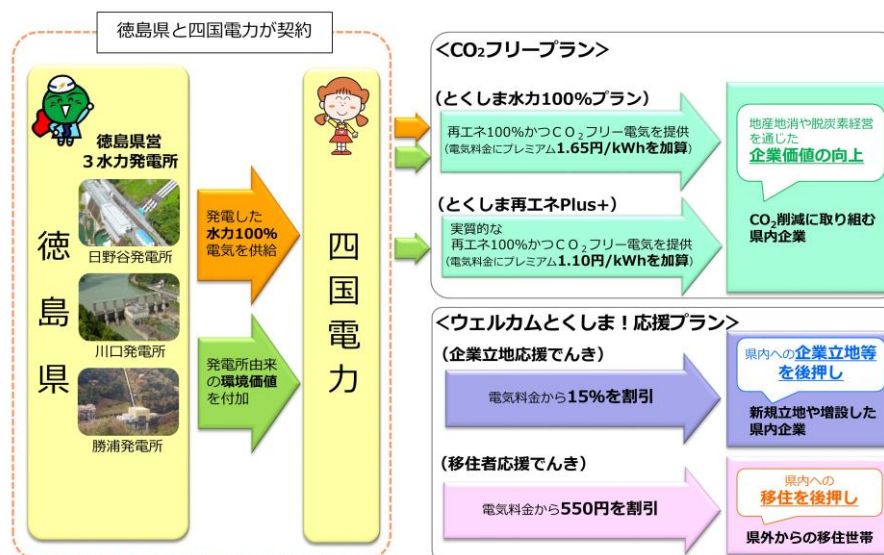
対 象	徳島県内において高圧または特別高圧で受電されているお客さま
概 要	- 県営水力発電所で発電された電気に、同発電所由来の環境価値を付加し、再生可能エネルギー100%かつCO2フリーの電気を供給 - 各月の電気料金の算定にあたり、1kWhにつき1.65円(税込)を加算※ ※リニューアル前：2.20円(税込)を加算

とくしま再エネ Plus+

新設

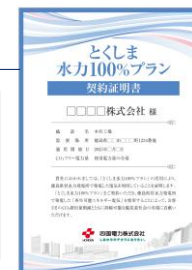
対 象	徳島県内において高圧または特別高圧で受電されているお客さま
概 要	- 四国電力の任意の発電所(化石燃料を使用するものを含む。)で発電された電気に、徳島県営水力発電所由来の環境価値を付加し、実質的に再生可能エネルギー100%かつCO2フリーの電気を供給 - 各月の電気料金の算定にあたり、1kWhにつき1.10円(税込)を加算

でんきでげんき！とくしまパワー（プランイメージ）



契約証明書

とくしま水力100%プラン、とくしま再エネPlus+の契約のお客さまには、徳島県営水力発電所由来のCO2フリープランを提供していることを証明する「契約証明書」を発行。



Menu.4 情報発信（インフラ整備）

小学生から企業まで 幅広い世代 をターゲットに対する情報発信を展開。

県内での認知度向上による 蓄電池関連産業の活動への理解向上 や県外発信による 人材確保へ貢献。

認知度拡大に向けた情報発信

SNS等での広告配信と運用

- 企業と個人の両ターゲットにSNS及びデジタルサイネージで動画等を配信
- 公式アカウントを開設し、広告から継続した情報を発信

イベント出展とPRグッズ制作

- 蓄電池の仕組みが学べる体験型イベントやグッズを実施
- メインターゲットを低中学年層に設定し、子どもが蓄電池に興味を持つきっかけを演出

会場1 あすたむらんど徳島



あすたむらんど徳島内「子ども科学館」でのブース出展。

1日の目標来場者数／500名

会場2 ゆめタウン徳島



ゆめタウン徳島でのブース出展。休日は親子連れが多く来店し、効果的なPRができます。

1日の目標来場者数／500名

会場3 徳島おどりフェスタ2025と同時開催 阿波のたけき祭り



「ふるさとカーニバル〜阿波のたけき祭り〜」でのブース出展。

1日の目標来場者数／500名

ネット・リアル両面での県内外発信

SNS発信コンテンツ

YouTube 人材確保向け及び企業誘致向けの動画をそれぞれターゲティングして配信。



人材確保向け及び企業誘致向けの動画をそれぞれターゲティングして配信。



広告配信により友達獲得し、広告配信以降も継続的な情報発信を行う。



ADMATRIX DSP 関連企業のIPアドレスを指定し、効率的な広告配信を行い、PRする。

イベント出展イメージ

- ペダル式蓄電池を用いて、ブースの一部電力を賄い、スマートフォンの充電体験もできる蓄電池体験イベントの開催！
- 蓄電池の残量を表示するバッテリーバレイ構想のロゴマーク入りのモニターを設置して蓄電量を可視化！
- バッテリーに関するパネルを設置して来場者に蓄電池の使い道やバッテリーバレイ構想についての詳細な説明などを行う！



Menu.4 道路整備（インフラ整備）

「高規格道路」と「企業活動の拠点」を直結する道路について調査・設計に着手。

- ・ 阿南インターチェンジ から都市計画道路「下大野南島線」を經由し、辰巳工業団地 を結ぶ道路
- ・ 小松島南インターチェンジ と 徳島小松島港 赤石地区 を結ぶ道路

活力の道

地域の魅力度や生産性の向上による地方創生



産業発展に資する物流効率化を支援

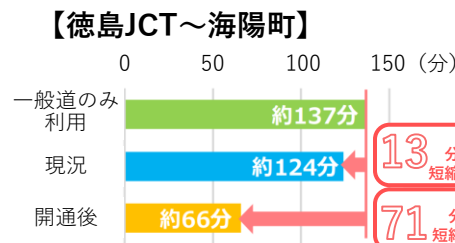


産業都市・阿南まで
つながることで
関西方面 ⇄ 阿南市
輸送時間 **40分** 短縮

- ☑ 徳島バッテリーバレイ構想
- ☑ 特産品の市場拡大
を大きく後押し

新たな人流創出を支援

移動時間の短縮



周遊ルートの形成



Menu.4 普及拡大（インフラ整備）

県民主役による「脱炭素型ライフスタイル」への早期転換を推進するため、**県民向け 自家消費型 太陽光発電・蓄電池の導入を支援。**

また、**県有施設** への初期費用低減化モデル等を活用した **太陽光発電・蓄電池・EV用充電器の導入** を推進。

クリーンエネルギーの最大限導入等

県民向け補助金制度

- 令和7年度申請件数（8月31日時点）
 - ①太陽光発電 28件
 - ②蓄電池 22件

県有施設への率先導入

太陽光発電・蓄電池 パネル出力925kW（9施設合計）

- 県有施設に「PPAモデル」を活用し、太陽光発電・蓄電池を導入
- 4/1 新たに9施設において太陽光発電の運転開始し、うち3施設には蓄電池を設置



(R7/動物愛護管理センター)

EV用充電器 急速充電器 6施設11口 普通充電器 6施設24口

- 県有施設に初期費用・維持費用ゼロ円モデルを活用し、EV用充電器を導入予定。
- 今年度中の運用開始を目指す。



(R6/あすたむらんど)

脱炭素型ライフスタイルへの早期転換を推進

自家消費型太陽光発電・蓄電池の導入等を行う県民に対して費用を一部補助

県民
主役

徳島県地域脱炭素移行・再エネ推進事業補助金

「2050年カーボンニュートラルの実現と「災害時等のレジリエンスの向上」を図るため、県民の皆様に向けて「ZEH+」、自家消費型の太陽光発電、「蓄電池」の導入に対する補助制度を実施します。

① ZEH+ ※売電契約をする場合は、余剰買取方式によること。

対象設備	補助率	補助上限額	
ZEH+	定額	新築住宅 100万円以内/戸	既存住宅 対象外

② 太陽光発電設備・蓄電池 ※売電契約をする場合は、FIT-FIP制度を取得しないこと。

対象設備	補助率	補助上限額	
太陽光発電設備	7万円/kW	新築住宅 対象外	既存住宅 35万円
蓄電池	蓄電池価格の1/3	対象外	25.8万円以内

※蓄電池は、太陽光発電設備と併せて導入する場合に限り補助対象。

●各補助対象設備の購入等は徳島県内に営業所等を有する事業者から行ってください。

受付開始日：令和7年5月19日（月）

申請受付は先着順です。予算額に達し次第、受付を終了します。

※申請する他のZEH+や太陽光発電設備等の補助金と併給できません。

※市町村でも同様の補助制度を実施している場合があります。右QRコードでご確認ください。

※取得した対象の住宅には制限がかかります。

徳島県生活環境部 サステナブル社会推進課 脱炭素推進担当

申請先及び
お問合せ先
TEL: 088-621-2260 FAX: 088-621-2845

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地 ☎ sustainablesociety@pref.tokushima.lg.jp

太陽光発電・蓄電池補助事業

- 補助対象者
 - ・県内に住所を有する個人

- 補助率・補助上限額

- 太陽光発電設備
 - ・補助率：7万円/kw
 - ・補助上限額：35万円
- 蓄電池
 - ・補助率：蓄電池価格の1/3
 - ・補助上限額：25.8万円以内

ZEH+補助事業

- 補助対象者
 - ・県内に住所を有する個人

- 補助額
 - ・100万円以内/戸

※申請の合計額が予算上限に到達したため、申請受付を終了しております。

Menu.6 規制緩和

蓄電池業界団体との **官民連携** での **政策要望** の実施により、蓄電池の「安定供給確保支援基金事業費助成金（経済産業省・NEDO）」の制度が見直された。

これにより、**国・地方自治体の補助金の併用が可能** となり、地方の特色が活かせる仕組みが実現。

経済産業省・内閣府に政策要望 R7.5.15

(一社)電池工業会(BAJ)様、
(一社)電池サプライチェーン協議会(BASC)様と連名要望

課題

経済安全保障に係る国補助金と地方自治体の補助金を併用することが認められていない。

■ 地方の特色が活かせない！



対応

経済産業省にて一早く対応

国・地方自治体の補助金の併用が可能に。



官民連携の政策要望

徳島県 後藤田知事
内閣府 赤澤内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)
BASC 鈴木事務局長

要望書

蓄電池の製造サプライチェーンの強靱化及び
持続的な地方経済の活性化に向けた政策要望

米国の関税措置に伴い、世界経済は先行きの不透明感が高まっており、民間企業による投資意欲の減退が懸念されています。一方で、海外に流出している製造拠点を国内に回帰させる好機でもあり、地方が受け皿となり新たな産業集積を図っていく必要があります。

国においては、「安定供給確保支援基金補助金」による蓄電池関連事業者への支援が行われているものの、地方自治体による補助制度との併用が認められておらず、地方独自の取組が十分に活用されない状況にあります。なお、この点は、同補助金の重要鉱物関連事業者に対する支援では併用が妨げられていないものと均衡を欠いています。

意欲ある「民間企業による投資」を促進し、国内での「サプライチェーン構築」と「地方経済の活性化」につなげるため、下記の事項を要望します。

記



1. 地方自治体補助金との併用を禁止する補助制度の見直し

地方自治体の企業誘致活動を促し、蓄電池産業のさらなる成長につなげるため、地方自治体の補助金との併用を禁止している国の補助金について、併用が可能となる制度とすること。

2. 蓄電池等の国内サプライチェーンの強化に向けた支援の拡充

経済安全保障推進法の特定重要物資である蓄電池の安定供給確保のための国内製造基盤の拡充に向け、必要な予算・財源を前年以上の規模で確保すること。

令和7年5月15日

徳島県知事 後藤田 正純

一般社団法人電池工業会 会長 村尾 修

一般社団法人電池サプライチェーン協議会 会長 只信 一生



安定供給確保支援補助金(1/3・上限なし) + 徳島県補助金(上限100億円)

Chapter

02

参考_徳島バッテリーバレイ構想・推進 ロードマップ

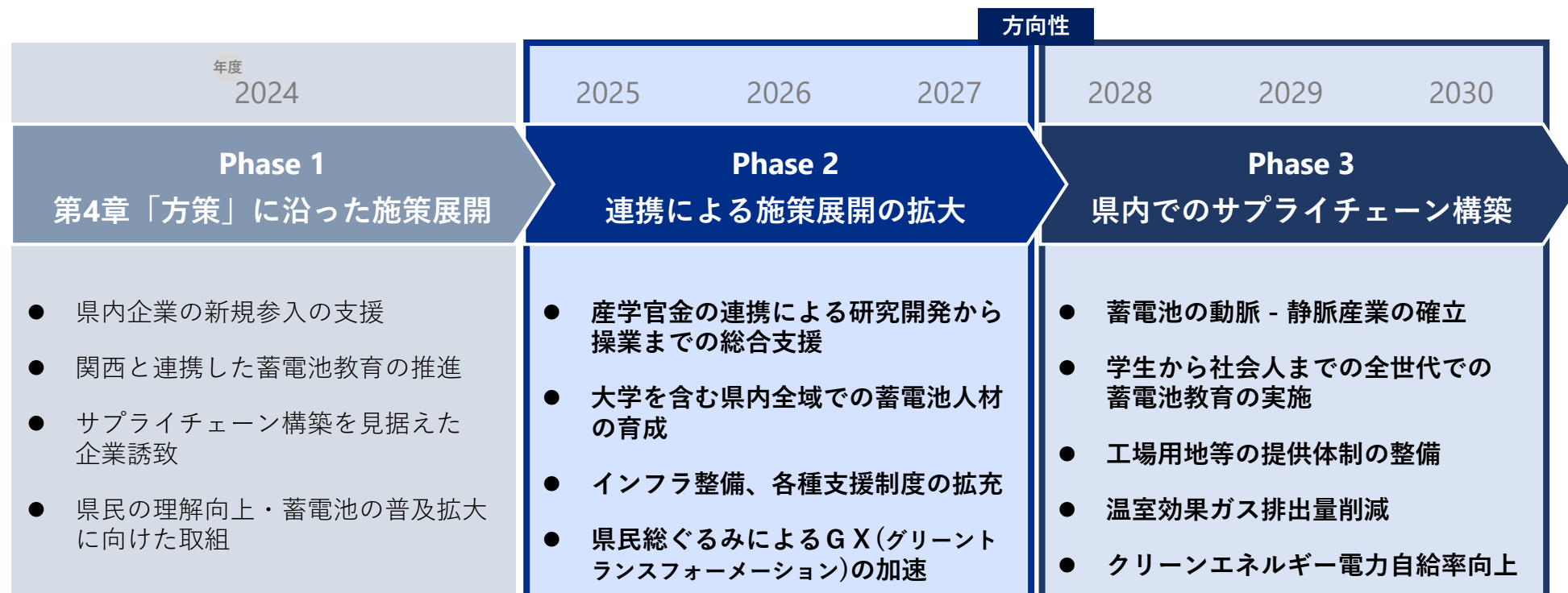
徳島バッテリーバレイ構想・取組方針

全体版

詳細版

本構想及び本県の「GX推進計画」の内容に基づく、施策の方向性を整理。

構想第3章 整備すべき主な機能に基づくロードマップとアクションプランを策定。



構想実現
取組方針

2024-2030(7ヶ年)の前半期では、中長期的な計画で実施する「企業誘致」「蓄電池人材の育成」を重点に、連携施策の拡大に取り組む。後半期には、サプライチェーンの構築を念頭に、施策の発展と進捗状況に応じたフォローアップを実施。
施策検討にあたっては、構想の「整備すべき主な機能」を中心に置き、推進会議で議論。

徳島バッテリーバレイ構想・推進ロードマップ1

全体版

詳細版

本構想第3章をロードマップ化。KPIは第4章「方策」の内容をベースに設定。施策の具体化



徳島バッテリーバレイ構想・推進ロードマップ2

全体版

詳細版

本構想の目標実現に向けた具体的な施策・取組を整理。併せて各メニューごとの目標数値を設定



徳島バッテリーバレイ構想・推進ロードマップ3

全体版

詳細版

構想の一つに位置付け。業界ニーズの変化に応じたアップグレードを図る。

